

# 令和7年度 第78回高知県高等学校体育大会 登山競技の部

当番校 追手前、高知工、国際、土佐

## 1. 大会役員

大会委員長 北村 晋助 (高知工業高等学校長)  
専門委員長 鎌倉 正典  
運営委員 西岡 義之 福永 幹郎 福山 勇作 佃 廣利 岡松 宏明  
石川 律子 石川 健司 都築 圭 利岡 幸信 金岡 展弘  
大崎 雅重 出口 和奈 徳橋 潤平 竹内 正明 井上 彩香  
廣瀬 敏行 越智 裕昭 大原 佑太 明神 徹 清岡 佑亮  
永井 大貴 古澤 駿人

大会顧問 西岡 義之 (高知県山岳連盟会長)  
審査員長 永井 大貴  
審査副員長 金岡 展弘  
審査員 福永 幹郎 岡松 宏明 出口 和奈 竹内 正明 井上 彩香  
大原 佑太 明神 徹 清岡 佑亮 都築 圭 利岡 幸信  
鎌倉 正典  
気象予報士 金子 稔彦  
総務 鎌倉 正典 金岡 展弘 大原 佑太  
記録 鎌倉 正典 永井 大貴  
現地救護 横川 奈知 出口 和奈  
支援 竹内 正明 井上 彩香 明神 徹 石川 健司

登山隊長 鎌倉 正典  
本隊 【男子A隊】 【女子B隊】  
C L 大原 佑太 清岡 佑亮  
S L 古澤 駿人 出口 和奈  
補助隊 井上 彩香  
最後尾担当 石川 律子

## 2. 大会期日

令和7年5月24日(土)～26日(月)

## 3. 会場

高知工業高等学校(高知市) 梶ヶ森(長岡郡大豊町)

## 4. 競技規定

審査は、『登山部報』全国高校登山大会成績評価実施要領「全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>」、「全国高等学校登山大会審査確認事例」等に基づき実施する。

## 5. 競技日程

5月24日(土)

13:30～13:45 受付(高知工業高校大会議室)  
13:45～14:00 運営打合せ後、審査委員会①  
14:00～14:20 開会式  
14:30～14:50 設営審査(ホッケー場)

15:00～15:40 審査(天気図・自然観察・救急知識・気象知識)  
16:00～16:20 幕営地諸連絡(高知工業高校ホッケー場)  
16:20～18:00 炊事・諸審査、本部設置(卓球場)  
18:00～20:30 運営委員会①、審査委員会②  
20:30～21:00 監督・リーダー会  
21:00 <消灯>

### 5月25日(日)

5:00 起床  
6:10 本部撤収完了、運営打合せ、審査員打合せ  
7:00 集合完了、開始通告、諸連絡  
7:30 バス移動  
8:30 大豊町豊永バス降車  
8:45 登山行動開始

【計画】 全区間メインザック行動 ( ) = 想定移動時間

[隊行動]

豊永—(30分)→佐賀山—(40分)→林道大杉太田口線—(60分)→  
龍王ノ滝駐車場—(50分)→定福寺奥ノ院—(30分)→シャクナゲの森—  
(35分)→梶ヶ森—(30分)→梶ヶ森キャンプ場

～15:00 梶ヶ森キャンプ場  
15:00～17:00 諸審査・設営・炊事  
18:30～20:30 運営委員会③、審査委員会④等  
20:30～20:50 監督・リーダー会  
21:00 <消灯>

### 5月26日(月)

4:00 起床・朝食・トイレ  
5:30 運営打合せ後、審査員打合せ  
6:00 集合完了・諸連絡  
6:20～8:30 登山行動(男女メインザック行動)

【計画】 全区間隊行動 梶ヶ森キャンプ場→龍王ノ滝駐車場→豊永

8:45～ 現地発  
9:50頃 高知工業高校着、審査委員会⑤等(選手は待機)  
11:00～ 閉会式・解散

## 6. 参加資格

高知県高等学校体育大会一般要項に従う。

## 7. 参加制限

- (1) 各校男子1チーム、女子1チームとし、4名1チームであること。
- (2) 各チームの中で1名はリーダーであること。
- (3) 各チームに監督1名とする。

## 8. 表彰

男女各チーム共に3位までを表彰する。

## 9. 参加校・参加選手

### 【 男子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
追手前	金岡 展弘	遠藤 悠真	戸田 光祐 山崎 滉武 福永 健人
高知工	大原 佑太	國澤 拓希	坂本 悠詞 市川 蘭 竹村 咲功
国際	竹内 正明	森部 翔敬	西森 廉祐 西條 律 阿部 勝男

### 【 女子 】

学校名	監督名	リーダー名	選手名
追手前	出口 和奈	名倉 美涼	植木 萌生 井田 陽菜 小松 暖
国際	井上 彩香	福田 紗也	藤田菜々香 窪田 倅子 小野 花恋

### 【 補助員 】 (サポート・救護支援)

学校名	教員名	補助員名
国際	竹内 正明 井上 彩香	高橋 楓
高知工	永井 大貴	森田 爽斗 仲野 壮真
追手前	金岡 展弘 出口 和奈	水田 直 片山 智暁 福田 治輝 吉良 光生 三浦萌々栞 武井 咲良 田口瑚真知 矢ヶ崎椋子
土佐	鎌倉 正典	高橋 寛也 元植 一太

### 【 支援役員 】 (サポート・行動役員・審判員)

高知県山岳連盟	福永 幹郎 (読図審査・現地支援) 岡松 宏明 ( " ) 西岡 義之 (現地視察) 麻田 正博 ( " )
高知県高体連登山専門部	石川 律子 (現地支援) 石川 健司 ( " ) 明神 徹 ( " ) 清岡 佑亮 ( " )

### 【 救護員 】 (現地における緊急時の救命処置等)

看護師	横川 奈知 (隊付救護員)
-----	---------------



## 全国高等学校登山大会<審査基準と指導目標>

区分	審査項目	審査内容	指導目標	審査細目
I 行 動  (50点)	1 体 力 (40点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>その山行にふさわしい体力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持久力のある体力を持ち、山になれた歩行ができる。</li> <li>スタミナの配分を心得、安全・確実な登山を楽しむ余裕をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>持久力。</li> <li>スタミナの配分。</li> <li>リズム、スピード、バランス。</li> <li>チーム内、チーム間の適度な間隔。</li> </ul> <p>上記について留意し、定められたコースを登山し総合的に評価する。</p>
	2 歩行技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確実な歩行技術が身につけている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行バランス。</li> <li>適度な歩幅。</li> <li>スリップ、転倒をしない。</li> <li>走らない。</li> <li>リズムカルな歩行。</li> </ul>
II 生 活 技 術  (15点)	3 装 備 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要品の所持。</li> <li>その数量と保安が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要品の所持とその数量が適切であり、合理的な収納、パッキングを行うことができる。</li> <li>身体保護のための適切な服装着用ができる。</li> </ul>	<p>(注) <u>アンダーライン</u>は個々に防水する携行品 (注) ○印はサブザック行動時に携行する装備品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>共同携行品 テント一式 (フライを含む)、○ツェルト、炊事用具一式、コンロ、燃料、○救急装備、○<u>ラジオ</u>、○温度計、予備食、○修理具、○裁縫用具</li> <li>個人携行品 ○雨具 (上下)、○<u>防寒着</u>、<u>寝袋</u>、<u>着替一式</u>、○水筒、食器類、○細引、○<u>ヘッドランプ</u> (予備電池を含む)、○<u>計画書</u>、○<u>大会地図</u>、○磁石、○時計、○筆記具、○ナイフ、○呼笛、○<u>手袋</u>、○<u>マッチ</u>、○<u>ライター</u>、○非常食、○行動食、ザック、○サブザック、○ (その他その山行に合った必要品)</li> <li>必要な救急装備の所持</li> <li>服装 登山大会服装規定に従う。 登山靴、帽子の着用。</li> <li>携行品の破損の有無</li> </ul>
	4 設営・撤収 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作に無駄がなく、メンバーの連携と手順がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テントの仕様を理解し、強度を損なわず、特性を活かした適切な扱いができる。</li> <li>安全に、かつ悪天時にも対応しうる適切な設営手順を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定時間内での設営、撤収。</li> <li>手順。</li> <li>ペグの位置、打ち込み、本数。</li> <li>張り綱の適正な張り方。</li> <li>設営中及び設営後のザック等の整理。</li> <li>撤収後の整地。</li> </ul>

	5 炊事 (5点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全や衛生に配慮している。</li> <li>食料計画が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>食料計画は栄養的知識に基づいた献立と調理法を理解し、行動計画に適合して工夫と応用ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンロの正しい使い方。</li> <li>安全への配慮。</li> <li>燃料の量及び管理。</li> <li>食料計画と実際の一致。</li> <li>衛生的な調理。</li> </ul>
III 知 識  (20点)	6 天気図 (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>天気図の作成・解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気象に関する基礎的知識を持ち、天気図の作成と解析、天気予報ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地点の気象。</li> <li>放送等圧線。</li> <li>等圧線。</li> <li>高気圧、低気圧、前線。</li> <li>解析・予報。</li> </ul>
	7 課題テスト (1)自然観察 課題テスト (4点) (2)救急知識 課題テスト (4点) (3)気象知識 課題テスト (4点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山に臨むうえでの基礎的な知識を有する。</li> <li>会場となる山域についての基礎的な知識を有する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>状況に応じた適切な対応をとれるよう、実践的な知識を習得する。</li> <li>対象となる山域について研究し、必要な知識を身につけて登山に臨む。</li> </ul>	<p>(1)(2)(3)共通課題として、予報第1号より、大会山域に関する基礎的な知識を問う。</p> <p>このほか、各課題テストでは次の内容で出題を行う。</p> <p>(1)登山を行う上での一般的な知識。</p> <p>(2)実地に対応できる基礎的救急処置の知識。</p> <p>(3)天気図等の情報の活用、観天望気を行うための基礎的な知識。</p>
	8 計画書 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山計画書の記載が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登山計画書の必須事項を適正に記載する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンバー表（氏名、生年月日、住所、保護者、電話）、緊急連絡先（留守本部、大会本部）、日程表、荒天対策、概念図、断面図、装備表（共同、個人分担表、重量）、食料計画（献立、カロリー、分担、重量、予備食、行動食、非常食）、救急装備表。</li> </ul>
	9 行動記録 (2点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動記録の記載が適切である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事後に役立つ行動記録の記載をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主要地点の出発・到着時間、または通過時間、天気、コースの概況、自然観察（植生含む）、体調の記入。</li> </ul>
IV 読図技術 (10点)	10 読図技術 (10点)	<ul style="list-style-type: none"> <li>コース上の定点の位置が、地形図上で特定できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読図・地形の観察が現地ですぐにできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読図による地点確認。</li> </ul>

V マナー・自然保護 (5点)	11 マナー・自然保護 (5点)	・自然保護をわきまえ、マナー全般がよい。	・自然保護をわきまえ、マナー全般にわたり良く、他の登山者への気配りができる。	・時間の厳守。 (出発・集合・起床・就寝) ・休憩時のザック位置の配慮、マナー。 ・歩行中のマナー。 ・自然保護への配慮。 ・幕営地におけるマナー。 ・指示の遵守
-----------------------	------------------------	----------------------	--	---

(平成2年7月31日改正、4年8月・7年8月・11年8月一部改訂、13年8月修正確認、14年8月一部改訂、16年8月一部改訂、18年8月一部改訂、20年8月一部改訂、22年11月一部改訂、27年11月改正、平成30年11月一部改訂、令和6年11月一部改訂)

**【参考】 これまでの県体における審査の一例**

- ① 装 備      8品目 (医薬品含む) ×0.5点    その他2項目 (パッキング、服装) ×0.5点
- ② 設 営      設営撤収時5項目×0.3点    完成時7項目×0.5点
- ③ 炊 事      5項目× 1点
- ④ 天 気 図      4点
- ⑤ 気象知識      4点 (気象2点+共通2点)
- ⑥ 自然観察      4点 (自然2点+共通2点)
- ⑦ 救急知識      4点 (救急2点+共通2点)
- ⑧ 読図技術      定点10点 (2日目:9か所×1.0点    3日目:2か所×0.5点など。2日目に10か所×1.0点、  
2日目に10か所×0.8、3日目に5か所×0.4など、大会により実施形態は変化)
- ⑨ 計画記録      それぞれ2点 (10項目×0.2点    又は    5項目×0.4点)
- ⑩ マナー等      全体的に確認し減点。大きくモラルに反するものは、該当事項を -1.0点とする場合もあり。
- ⑪ 体力歩行      審査確認事例に基づき、選手の状況を審査。別途、事前に観点を連絡し、審査する時もあり。